



# 市長定例会見

---

- 1 新イクボス宣言について
- 2 再配達削減キャンペーンについて
- 3 宇根山家族旅行村のリニューアルオープンについて

令和8年4月14日（火曜日）

三原市



## 新イクボス宣言

私は、すべての三原市職員がワークライフバランスを実現し、生き生きと活躍できる職場を築きます。

私自身がイクボスとして先頭に立つことで、市役所全体の管理職もさらにイクボスとして行動できるよう取り組むことを宣言します。

1. ライフステージに応じ、「子育て」や「介護」等に安心して取り組めるよう、育児休業・介護休暇の取得促進に加え、様々な休暇制度や勤務形態を当たり前を選択することができる職場風土を醸成します。
2. 仕事と生活の調和を図るため、働き方改革を推進し、時間外勤務の縮減に努めます。また、職員が効率的に業務を進め、生活時間を確保できる環境を整備します。
3. 「子育て」「介護」などを行う職員が制度の利用を言い出しにくいと感じる心理的負担をなくします。
4. 私自身が率先してワークライフバランスを実践します。同時に、管理職がイクボスとして部下を支援できるよう、意識啓発を継続し、市役所全体でイクボスを実践する体制を確立します。
5. ワークライフバランスを実現することで、性別やライフステージに関わらず、持てる能力を発揮し、多様なキャリアを形成できるよう支援します。

令和8年4月14日 三原市長 岡田吉弘

## 前回のイクボス宣言（R5.4.11）の背景等

### ●男性職員の育児休業の取得率の低さ

R4年度0%(0/14人)、R3年度5.9%(1/17人)

### ●休みがとりづらい職場風土

休暇制度はあっても、言い出しづらい雰囲気

## イクボス宣言(R5.4.11)

- 育児休業や介護休暇を取得しやすい環境に。
- 働き方改革で時間外勤務を縮減し、支え合う組織風土に。
- 市長が率先してワークライフバランスに取り組み、イクボスを実践。

### 【定義】「イクボス」

部下のワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。

# イクボス宣言(R5.4.11)以降の主な取組

## 1 イクボスになるための研修の実施

管理職を対象に「イクボス」への理解や具体的な行動を学ぶ研修を実施。

## 2 市長メッセージを常に表示

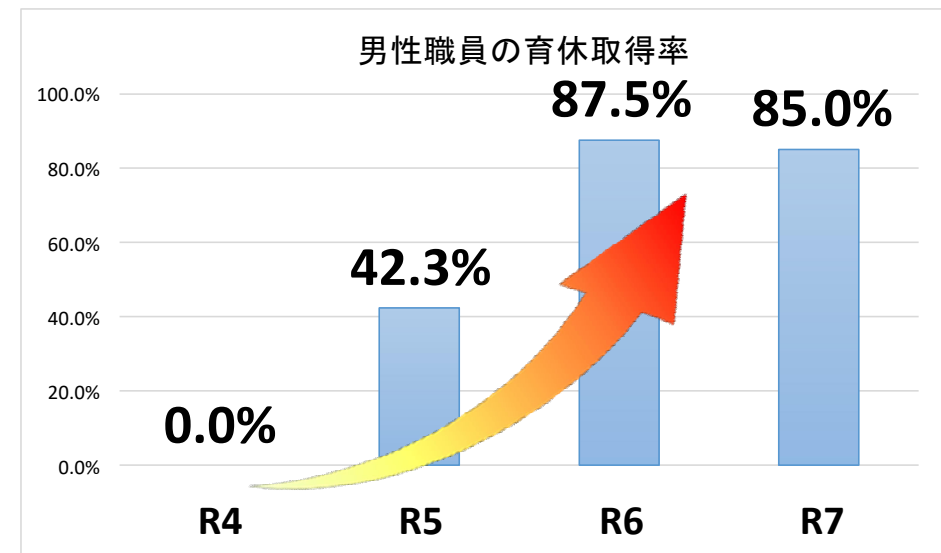
職員が使用するPC画面に、市長メッセージを表示させ、育休取得を後押し。

## 3 対象者に個別にヒアリング

子が生まれる職員に対して個別相談を実施し、取得を促進。

## 4 多様な働き方の制度を導入

育児や介護問わず、時差出勤制度が利用でき、ワークライフバランスを促進。



# 新イクボス宣言がめざす姿

## 1 柔軟な働き方を当たり前に

様々な休暇制度や多様な勤務形態を当たり前を選択することができる職場をめざします。

## 2 「言い出しにくい」をなくす

休暇制度を利用することを「言い出しにくい」と感じる心理的な負担をなくします。

## 3 すべての管理職をイクボスに

すべての管理職がイクボスとして部下を支援できるよう、継続して意識啓発。  
組織全体でイクボスを実践します。

## 4 職員の成長支援と多様なキャリア形成

職員の働きがいの向上に取り組み、持てる能力を発揮し、活躍できる職場をめざします。

# 「再配達削減PR月間」とは

再配達削減のために、  
できることから見直そう!



多様な受取方法を  
活用しよう



確実に受け取れる  
日時を指定しよう



受け取る相手の  
都合にも配慮しよう

目的: 深刻化する物流2024年問題への対応として、置き配など「多様な受取方法」を社会に定着させること。

内容: 配送効率の向上を通じて、物流の持続可能性を確保するとともに、CO2排出等の環境負荷を軽減。市は、国や関係機関と連携し、市民へ再配達削減の重要性を周知・啓発。



農林水産省



# 三原市が取り組む再配達削減キャンペーンの概要

ポイント

市と事業者が連携し再配達削減の取組を展開

県内初

項目		内容
名称		再配達削減PR月間(令和8年4月)における再配達削減キャンペーン
参加事業者	運送事業者	佐川急便(株)、日本郵便(株)、福山通運(株)、ヤマト運輸(株)
	宅配ボックス販売店	(株)ナフコ ホームプラザナフコ本郷店
主な取組内容		(1) 「出発式」の開催(4月17日(金)10時~) (2) 共同宣言 (3) 再配達削減・宅配ボックス設置を促す啓発カードの配布 (4) 多彩な受取方法のPR(日時指定、置き配、自宅以外施設利用など)



# 出発式のお知らせ

項目	内容	
日時	令和8年4月17日(金)10時から30分程度	
場所	三原西消防署(三原市下北方一丁目2番13号)新庁舎横 訓練スペース ※ 雨天時は1階講堂にて贈呈式・共同宣言を実施	
出席者	三原市長・各運送事業者の代表者及び配達員・宅配ボックス販売店	
流れ	(1) 委嘱式	やっさだるマンへ1日再配達削減・脱炭素推進部長を委嘱
	(2) 贈呈式	1日担当部長(やっさだるマン)が運送事業者代表へ「啓発カード」贈呈
	(3) 共同宣言	再配達削減、脱炭素社会推進に向けて連携して取り組むことを共同宣言
	(4) 来場者への啓発	宅配ボックスの展示・実演・チラシ等の配布
	(5) 出発	配送車両が一斉にカード配布へ出発

# 共同宣言



## 再配達削減共同宣言

三原市及び運送事業者4社（佐川急便株式会社、日本郵便株式会社、福山通運株式会社、ヤマト運輸株式会社）は、市内のCO2排出削減と持続可能な社会の実現に向け、再配達削減による物流の効率化を推進します。

ドライバー不足及び荷物と再配達の増加による物流業界の社会的課題は、私たちの日常生活に大きな影響を与えることを鑑み、物流の効率化や環境負荷軽減に資する具体的な対策として、次の事項に連携して取り組みます。

- 一 置き配など多彩な受取方法の普及促進を推進します
- 一 宅配ボックスなど受取環境の整備を推進します
- 一 市民への周知啓発活動を通じた再配達防止の意識向上を推進します

これらの施策を通じて、物流の効率化と環境保全を両立し、市民の利便性向上と持続可能な地域づくりに貢献することをここに宣言します。

令和8年4月17日



「物流の効率化」と「CO2削減」に向けて三原市と各運送事業者が連携して取り組むこと

## 1 置き配など多彩な受取方法の普及促進

## 2 宅配ボックスなど受取環境の整備を推進

## 3 市民への周知啓発活動を通じた再配達防止の意識向上を推進

# 主な取組（市民への周知・啓発活動）

啓発カードの配布

配達時などに、声かけとカード配布



4月は「再配達削減PR月間」です

三原市 SAGAWA 日本郵便 福山通運 ヤマト運輸

再配達を一緒に減らそう！

お願い

再配達削減に  
宅配ボックスも有効じゃ～

宅配ボックス  
補助金  
上限2万円

市生活環境課  
0848-67-6194



再配達削減のために、  
できることから見直そう！

多様な受取方法を  
活用しよう

確実に受け取れる  
日時を指定しよう

受け取る相手の  
都合にも配慮しよう

消費者庁 厚生労働省 農林水産省 経済産業省 国土交通省 環境省

カードは、名刺サイズ、再配達削減や宅配ボックス設置（市補助事業）を促すデザイン

# 主な取組（受取方法の普及促進、受け取り環境の整備促進）

## 多彩な受取方法のPR

市HPやSNS等を通じて周知し、  
運送の効率化を図る

- ・運送事業者が運用する受取サービス
- ・日時指定・事前通知サービス
- ・置き配サービス・宅配ボックスの利用
- ・自宅以外の受け取り施設の利用



市HP

## 宅配ボックス購入の補助

補助事業を継続して実施し、  
省エネ・創エネ設備の導入等を促進

個人向け	
補助対象	補助上限額
太陽光発電設備	15万円
蓄電池	5万円
<b>宅配ボックス</b>	<b>2万円</b>
エネルギー管理システム	2万円

# 参考（背景）

## ① 物流業界の現状と社会的課題

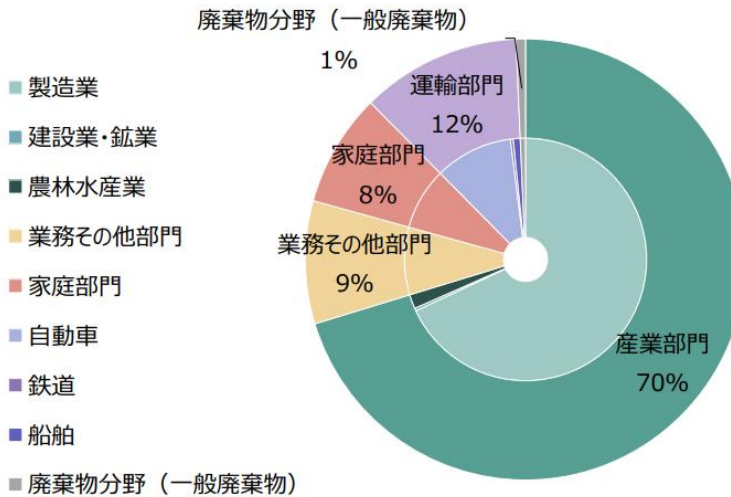
- いわゆる「2024年問題」
- トラックドライバーの担い手不足が顕在化、深刻化
- 再配達率の高止まりによる宅配事業者の負担増加



物流サービスの持続可能な提供が困難となるおそれがあり、社会全体で、配送の効率化が求められている

## ② 運輸部門におけるCO2排出量

### 3) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 令和5年度（2023年度）



部門・分野	令和5年度 排出量 [千t-CO <sub>2</sub> ]	構成比
合計	1,360	100%
産業部門	956	70%
製造業	925	68%
建設業・鉱業	5	0%
農林水産業	26	2%
業務その他部門	123	9%
家庭部門	113	8%
運輸部門	160	12%
自動車	142	10%
旅客	76	6%
貨物	66	5%
鉄道	5	0%
船舶	13	1%
廃棄物分野（一般廃棄物）	9	1%

※表中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



市内のCO<sub>2</sub>排出量のうち運輸部門が12%を占めている。CO<sub>2</sub>排出量削減のポテンシャルは高い。

# 宇根山家族旅行村のリニューアルオープンについて

## 『アウトドアパーク宇根山(宇根山家族旅行村)』

4/18(土)

リニューアルオープン！



## 「Restart」

地域の方の「守りたい」という思いを引き継ぎながら、新たな企画と運営スタイルを導入し、宇根山周辺の魅力を発信する拠点として再スタート。



指定管理者

代表団体:株式会社つくる

構成団体:宇根山活性化グループ

- 株式会社つくる  
テレビ番組を中心とした動画コンテンツの制作やイベントの企画・運営を行う。  
現在は、TSSテレビ新広島番組「西村キャンプ場」を制作・放映中。  
代表取締役麻倉良一氏は、令和6年2月から令和8年3月まで三原市地域おこし協力隊として、宇根山家族旅行村の運営に従事。
- 宇根山活性化グループ  
令和5年4月～令和8年3月までの指定管理者。  
NPO宇根山、宇根山天文協会、吉田自治区の3団体で構成。

# 新たなサービス（ドッグランサイトとドッグランの新設）

「人もペットも楽しめる」をテーマに  
愛犬が喜ぶ新サイトや新施設がオープン！



▲「ドッグランサイト」  
キャンプサイトが柵で囲まれており  
愛犬と一緒にキャンプを楽しめる

▲「ドッグラン」  
広大な敷地を有効活用  
日帰りでも楽しめる

# 新たなサービス（新たな移動手段の提供）

新たな移動手段をレンタルで提供し、アウトドアパーク宇根山を中心に  
周辺スポットへのアクセスが便利に！



▲「電動三輪バイク(電動トゥクトゥク)」  
普通免許で運転できる3人乗りの電動バイク  
“ペットとの乗車もOK”



▼「電動自転車」  
ペットと乗れる電動自転車



# 新たなサービス（食の充実）

泊まりだけじゃない！  
サイクリングの方もおさんぽの方も大歓迎！日帰りプランも充実！



▲「手ぶらBBQプラン」  
地元の焼き肉店から直送のBBQセット  
(4人前～予約制)



▲「軽飲食を販売」  
管理棟の一部を厨房施設に改装  
日帰りの方でも楽しめる軽飲食を提供

# アウトドアパーク宇根山の概要

## 【開場日】

	4月～11月	冬季期間 (12月～3月)
これまで	土・日・祝日のみ (平日は、年間30日程度開場)	休場
今後	土・日・祝日＋毎週平日3日程度(週5日程度) ※2026年度年間カレンダーによる ※夏季は、暑さ対策のため、休場計画あり	

※常駐スタッフを配置

公式ホームページ



公式Instagram

